

第1回 ていれぎ学級が開催されました 後編

6月17日、養護教諭の坪井先生より「これからの季節に注意したいこどもの健康」と題し、熱中症と感染症について講演していただきました。



後編では、その講演の中から、夏に子どもがかかりやすい感染症をピックアップします。(ホームページ掲載にあたり、坪井先生のご協力により、講演内容を増補しています。)

● 感染症の注意事項

夏に増える感性症として、手足口病、ヘルパンギーナ、プール熱(咽頭結膜熱)、流行性角結膜炎がある。

✓ いずれも大人もかかり、大人は重症化しがちなため、看病の際には要注意。

石鹸による手洗い、アルコール消毒が有効。

✓ 症状がなくなっても完治していないと、少し体調を崩す・疲れるといったことで再発することも。

✓ プール熱・流行性角結膜炎の原因であるアデノウイルスは、タオル等の共用で感染する点に注意。

✓ 吐いたものの処理は次亜塩素酸ナトリウム水溶液(いわゆるキッチンハイター)を使用。

嘔吐の原因は、熱中症、食中毒、アルコール消毒が効かない菌やウイルスに因るもの(例えばノロウイルス)など、様々であるため、最悪を想定して対処。

以上です。

2学期には第2回ていれぎ学級が予定されています。

講演者の方への質問は、当日直接行うことも、事前に参加申込書に記載することでも、可能です。後者の場合は匿名での質問となりますので、安心してご参加ください。